



【取組の概要】

南海トラフの巨大地震が発生した際には、津波や土砂災害等により、道路網等にも甚大な被害が発生することが想定されています。

国や県において、四国管内の道路啓開計画の検討が進められていますが、各市町村においても、早期の救援・救護・救出活動、復旧・復興に向けて、道路啓開計画の検討を進めていきます。

【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

- ・国や県の道路啓開計画等を踏まえつつ、各市町村における主要施設（防災活動拠点や避難所、病院、ヘリポート等）等への啓開計画を検討する必要があります。
- ・沿岸部における航路啓開等についても踏まえることが必要です。
- ・大規模かつ広域的な災害が発生した際には、中山間地域等においては、建設業者（人材や建設機械、資機材等を含む）等の不足が懸念されます。建設業者等との協定の締結や地域における建設機械等の保有量の把握等を進め、実現性のある計画としていくことが重要です。
- ・南海トラフ地震等の大規模災害発生直後（発災後4～7日）には、国等から必要不可欠と見込まれる物資が緊急輸送される（プッシュ型支援）ことから、広域物資輸送拠点や市町村が設置する地域内輸送拠点又は避難所までの道路啓開等を検討しておくことが重要です。
- ・市町村においては、国や各県が作成する道路啓開計画等を踏まえつつ、地域内輸送拠点や避難所までのルート確保等を検討（地域内の啓開計画の検討）しておくことが重要です。また、幹線道路の啓開と同時に、物資受入や緊急搬送等の対応が求められることから、時間経過に応じた体制整備を検討しておくことが必要です。

◆参考資料

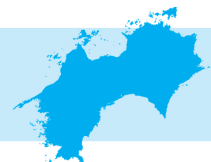
- ・南海トラフ地震対策地域啓開計画策定ガイドライン（案）（平成27年3月 四国南海トラフ地震対策戦略会議）

<https://www.skr.mlit.go.jp/bosai/bosai/chiikikeikai/chiikikeikaku.html>

- ・四国道路啓開等協議会 <https://www.skr.mlit.go.jp/road/dourokeikai/index.html>
- ・愛媛県道路啓開計画 <https://www.pref.ehime.jp/h40900/ehimedourokeikai.html>
- ・高知県道路啓開計画

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170701/2015022700218.html>

5 災害に強いまちづくり計画



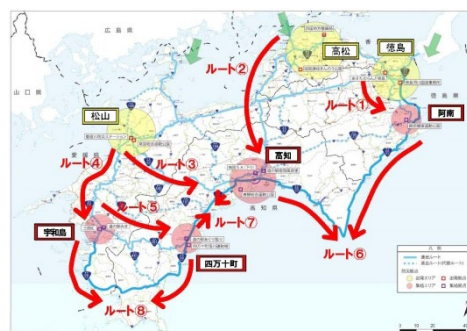
- ・南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（平成29年6月 中央防災会議）

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/nankai_oukyu_keikaku02.pdf

○四国道路啓開等協議会の取組み

・四国広域道路啓開計画（四国おうぎ（扇）作戦）の策定（平成28年3月）

- ・「四国道路啓開等協議会」（平成27年2月設置）では、南海トラフ地震発生後の速やかな道路啓開を実施すべく、道路管理者と関係機関が連携した道路啓開のあり方を検討し、「四国道路啓開計画」を策定しました。



- ・南海トラフ地震発生の際、瀬戸内側から被害の甚大な太平洋側へアクセス可能となるよう、優先的に啓開する8つのルート「進出ルート」を設定し、扇状に道路啓開（四国おうぎ（扇）作戦）を進めることとしています。

<https://www.skr.mlit.go.jp/road/dourokeikai/>

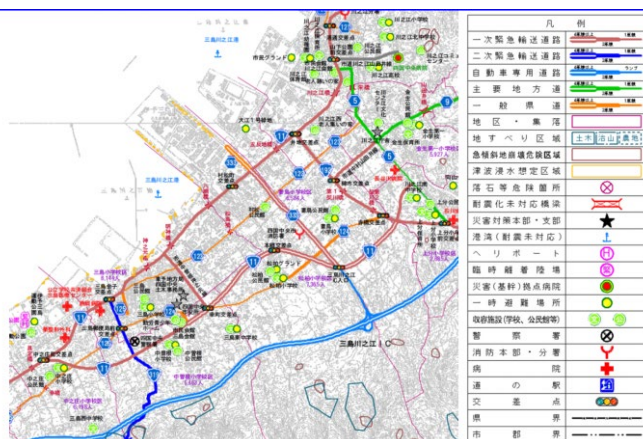
図 四国おうぎ(扇)作戦 進出ルート図

(出典：四国広域道路啓開計画)

○愛媛県の取組み

・愛媛県道路啓開計画の策定

- ・愛媛県では「四国版道路啓開計画」とも整合を取りながら、「愛媛県道路啓開計画」を策定しました。また、計画の策定にあたって、様々な情報を盛り込んだサポートマップを作成し、それを活用して啓開計画を検討しています。



サポートマップの事例（四国中央市）

<https://www.pref.ehime.jp/h40900/ehimedourokeikai.html>